

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 4 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '伝統的建造物群保存地区保存事業' and '文化財の保存・活用'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the project's purpose and execution methods.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (26-30) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '説明会の実施回数' and '桜川市真壁伝統的建造物群保存地区の面積'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 26-30 years, categorized by 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 人員費 (正規職員従事人数, etc.).

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 years, listing items like 08 報償費, 09 旅費, etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns for 28, 29, and 30 years, detailing implementation content such as '伝統的建造物の修理事業費補助' and '伝統的建造物の修景補助'.

事務事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業	事務事業No.	30501000901	所属課	都市整備課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
町並み保存運動を背景に、平成11年度より登録文化財制度を積極活用し、町並み保存事業に着手した。 平成15~17年度にかけて伝統的建造物群保存対策調査を実施し、平成18年度に伝統的建造物群保存地区保存条例を制定。 平成19年度に伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置し、平成21年度に伝統的建造物群保存地区制度を導入した。 平成22年6月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された。 現在は、平成23年3月11日の東日本大震災により被災した特定物件の災害復旧事業を進めている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
災害復旧事業の促進。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	保存会・審査制度を確立して、よりスムーズな制度運営を行う必要がある。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 古い町並み、伝統的建造物を活用した「住み良いまち・住み続けたいまち」の創出に寄与している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 伝統的建造物群保存地区の決定および運営は、住民と市町村とが行うこととなっている。 規制と補助を行う制度であるので、市町村が役割を果たさなければならない。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 保存会・審査制度を確立して、よりスムーズな制度運営を行う必要がある。
効率性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 都市計画決定を行い、保存計画に規定した町並みの保存・整備事業であり、廃止できない。 修理の急がれる伝統的建造物が多く、事業を休止する状況にない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 都市計画区域内における都市計画決定であり、都市計画部局との連携も不可欠である。都市計画部局の管轄する景観計画に関する事業や、歴史的風致維持向上計画の実施に関する事業との連携も不可欠。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 修理・修景事業を開始したばかりであり、事業費削減の余地はない。また平成23年度より東日本大震災からの復旧事業に取り組んでおり、事業費が増加している。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 伝建審議会で決定された内容をもとに地区の運営が行われるものであり、地区内に公正に適用される。 桜川市の誇り、また歴史・観光資源として広く市民に寄与し、公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成22年度は国の重伝建地区選定を受けた。 平成23年3月の震災に基大な被害を受け、災害復旧事業を開始した。 平成23年から24年にかけて屋根材料の不足、平成25年以降は、職人の不足により事業の進捗が遅れ気味である。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成25年度以降は、左官職人の不足により事業の進捗が遅れ気味である。 集中復興期間も完了したため、所有者への促進を強める。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		①																						
コスト削減優先度評価結果		④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>